

## 「三重県真珠養殖対策会議」について

### 1. 趣旨

昨年発生が認められたアコヤガイの外殻膜萎縮症状やへい死は、本県の真珠養殖業に大きな被害をもたらしました。

本年も、真珠養殖漁場では、顕著な高水温や餌となるプランクトンが少ない状況にあり、6月上旬ごろから、一部の地域で、へい死の兆候が見られ始めています。

こうした危機的な状況をふまえ、短期的には、へい死等の原因究明を進め、へい死等の拡大を阻止し、アコヤガイのストレス緩和対策などの緊急的な対策を進めていく必要があります。あわせて、温暖化等地球規模の環境変動に適応した真珠養殖業を実現するため、中・長期的な視点から、従来の稚貝・母貝生産及び養殖技術等、真珠養殖手法の抜本的な見直しを検討していく必要があります。

世界に誇る本県の真珠養殖業の維持・発展に向け、これらの課題に取り組めるよう、「三重県真珠養殖対策会議」を設置し、へい死等に係る短、中・長期対策の検討を行うこととします。

### 2. 発足日：令和2年6月24日（水）

### 3. 構成員

- ・学識経験者：三重大学大学院 古丸 明（こまる あきら） 教授
- ・養殖業者：三重県真珠養殖漁業協同組合、神明真珠養殖漁業協同組合、立神真珠養殖漁業協同組合、船越真珠養殖漁業協同組合、片田真珠養殖漁業協同組合、越賀真珠漁業協同組合  
各代表理事組合長
- ・行政機関：志摩市産業振興部 水産課長  
：南伊勢町 水産農林課長  
：三重県農林水産部 水産振興課長
- ・研究機関：三重県水産研究所 研究管理監【座長】